

第二次山北町子ども読書活動推進計画の 目標と基本方針

ポイント1 子どもの読書環境の整備・充実を図ります

ポイント2 推進状況がわかる「努力目標」を設定します



読書が「好き」と言える子どもの割合を努力目標に設定

読書が好きと言える
子どもの割合
小学生(5年生)

80.3% → 85.0%
(2020年) (2030年)

読書が好きと言える
子どもの割合
中学生(2年生)

46.2% → 60.0%
(2020年) (2030年)

令和2年度(2020年)に実施した「読書に関するアンケート調査」では、読書が「好き、どちらかという好き」といえる山北町の児童・生徒の割合は、小学生で80.3%、中学生で46.2%でした。これは平成30年度文部科学省委託調査「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」の全国平均小学生73.3%、中学生67.3%に比べて小学生は高く、中学生は低い傾向にありました。

3つの基本方針

子どもが読書に…

- ✓ 親しむ機会の提供と環境の整備・充実
- ✓ 活動に関する啓発・広報の推進
- ✓ 親しむための推進体制の整備

家庭・地域・園、学校

check

町全体で推進します

町行政をはじめとして
関係機関等との連携を
強化し、情報を共有・
課題意識を持って推進
を図っていきます。

子ども読書活動の推進の5つのアクション

子どもの読書への興味・関心の向上

● 家庭・地域・学校などにおいて子どもの読書習慣化

● ブックスタート事業

対象の子どもに本をプレゼントします。
※ファースト(0歳)、セカンド(3歳)、サード(小学1年)



読書環境の整備・充実

● 各園に絵本コーナーや学校に学年文庫等のスペースを設置

● 各園・学校・公共施設等の書籍の充実

● 電子図書館の充実や活用の促進



ファミリー読書の推進

● 家庭全体で本に触れ合う機会を

町では子どもたちが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に4/23~5/12を「山北町ファミリー読書週間」と定めています。



図書ボランティアの要請と支援

● 図書ボランティア養成講座の継続

● 各園・学校へのお話会などへのボランティア参加

園や学校における関係機関や団体等との連携

● 各園・学校への図書団体貸出制度の有効活用

生涯学習センター図書室等と連携し、図書室の図書を貸し出しています。

● お話会やブックトークの充実に努める